

ターペン可溶1液速乾変性エポキシ系さび止め塗料

ホルムアルデヒド  
放散等級  
F☆☆☆☆

# ニッペ 1液ハイボンファインデクロ®

さびに強く、乾きの速い1液変性エポキシ塗料です。

JPMS 28  
一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイント  
適合品



写真はイメージであり、製品とは無関係です。

ペイントかわら版  
読者募集!

登録 無料

いますぐご登録を。



※QRコードが読み取れない場合は、こちらにアクセスしてください。  
<http://paintkwaraban.jp/form/>

NIPPON PAINT CO.,LTD.

2液変性エポキシ樹脂塗料と同等の防錆力を持ち、素速い乾燥性のターペン可溶1液さび止め塗料

# 「1液ハイボンファインデクロ」

JPMS 28 一液変性エポキシ樹脂さび止めペイント 適合品 (JASS 18 M-109 性能相当)

## 7つの特長

- 1 使い易いターペン可溶タイプです。**  
塗料用シンナーAで希釈できます。
- 2 便利な1液タイプです。**  
硬化剤の不要な1液タイプですのでポットライフがなく、塗料をムダにしません。
- 3 手離れの良い速乾タイプです。**  
手離れの良い速乾タイプなので工期を短縮できます。
- 4 幅広い下地に適性があります。**  
劣化溶融亜鉛めっきを含む広範囲な下地に適用できます。
- 5 安心の高防錆力です。**  
2液変性エポキシさび止め塗料同等の防錆力があります。
- 6 環境配慮形です。**  
鉛を配合しない環境にやさしいさび止め塗料です。
- 7 高作業性です。**  
はけ、ローラー塗りが良好です。



\*地域や色相により缶意匠が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 性能比較表

性能項目	1液ハイボン ファインデクロ	2液変性 エポキシ塗料	JIS K 5674 1種品
塗装作業性	◎	○	◎
防錆力	◎	◎	○
劣化溶融亜鉛 めっきへの付着性	○	○	×
塗り重ね時間(23℃)	4時間	16時間	16時間
ポットライフ(23℃)	ありません	5時間	ありません
使用シンナー	塗料用 シンナーA	エポキシ シンナー	塗料用 シンナーA

※社内データによる

## 素地の適用性

素地	適応性	備考
鉄	○	
ステンレス(SUS304)	○	
劣化溶融亜鉛めっき	○*	白さび除去必須
電気亜鉛めっき	○	ボンデライト
アルミニウム(A1050P)	○	
FRP板	○	
塩ビ鋼板	×	

※6ヶ月以上暴露された面に使用してください。それでもキラキラしている箇所はペーパー研磨が必要です。  
注)上記以外の素地との付着性につきましては、最寄りの営業所までお問い合わせください。

## 旧塗膜との適用性

塗料系統	適応性	弊社商品名
フタル酸樹脂塗料	○	ハイシルクニュータイプ/ CRペイント上塗エコ
ポリウレタン樹脂塗料	○	ハイボン50上塗
塩化ゴム系樹脂塗料	○	ハイラバーEスーパー上塗
アクリル樹脂塗料	○	ケンエースG-II/ ニッペアクリル
エポキシ樹脂塗料	○	ハイボン40上塗
ターペン可溶 ウレタン樹脂塗料	○	1液ファインウレタンU100/ ファインウレタンU100
合成樹脂調合ペイント	○	Hi-CRデラックスエコ

## 上塗り適用性

	塗料系統	適応性	弊社商品名 (上塗り塗料)
弱溶剤系	ターペン可溶 1液形ウレタン樹脂塗料	○	1液ファイン ウレタンU100
	ターペン可溶 2液形ポリウレタン樹脂塗料	○	ファインウレタンU100/ ファインルーフU
	ターペン可溶 1液形シリコン樹脂塗料	○	1液ファインシリコンセラUV/ シリコンルーフII
	ターペン可溶 1液形フッ素樹脂塗料	○	1液ファインフッソUV/ 1液ファイン4Fルーフ
	カチオン形 アクリル樹脂塗料	○	ケンエースG-II
	合成樹脂調合ペイント	○	Hi-CR デラックスエコ
水系	1液水性反応硬化形 ウレタン樹脂塗料	○	水性ファイン ウレタンU100
	1液水性反応硬化形セラミック 変性シリコン樹脂塗料	○	水性シリコン セラUV
	1液水性反応硬化形鉄部・ 外壁兼用シリコン系塗料	○	水性ファインSi

※1 1液ハイボンファインデクロの上に強溶剤系塗料は使用しないでください。  
※2 上記以外の上塗り適用性につきましては、当社営業所までお問い合わせください。

## 塗装仕様例

### 塗り替え

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	シンナー希釈 (%)	塗装方法	
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含めて入念に除去する。さびは電動工具、手工具を用いて劣化した旧塗膜を含めて除去し、鋼材を露出させる。油脂分などの付着物は完全に除去し、活膜部の表面を含め全面を面直し、清掃する。						
下塗り	1液ハイボンファインデクロ	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内	塗料用 シンナーA	5~10 はけ ウールローラー	
ウレタン 仕上げの場合	上塗り①	1液ファインウレタンU100	0.12~0.16	3時間以上	塗料用 シンナーA	3~8	はけ ウールローラー
	上塗り②	1液ファインウレタンU100				8~13	
シリコン 仕上げの場合	上塗り①	1液ファインシリコンセラUV	0.12~0.16	3時間以上	塗料用 シンナーA	3~8	はけ ウールローラー
	上塗り②	1液ファインシリコンセラUV				8~13	

・さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り(1液ハイボンファインデクロ)で部分補修塗りをしてから全面下塗り塗装してください。  
 ・上記の各数値はすべて標準の数値です。施工方法、施工条件により、各々多少の幅を生じることがあります。

### 新設

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	シンナー希釈 (%)	塗装方法	
素地調整	完全に付着したミルスケールは残すが、それ以外の不安定なミルスケール、さびは電動工具を用いて除去する。また、ほこり、よごれ、油脂分なども入念に除去する。						
下塗り	1液ハイボンファインデクロ	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内	塗料用 シンナーA	5~10 はけ ウールローラー	
ウレタン 仕上げの場合	上塗り①	1液ファインウレタンU100	0.12~0.16	3時間以上	塗料用 シンナーA	3~8	はけ ウールローラー
	上塗り②	1液ファインウレタンU100				8~13	
シリコン 仕上げの場合	上塗り①	1液ファインシリコンセラUV	0.12~0.16	3時間以上	塗料用 シンナーA	3~8	はけ ウールローラー
	上塗り②	1液ファインシリコンセラUV				8~13	

・さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り(1液ハイボンファインデクロ)で部分補修塗りをしてから全面下塗り塗装してください。  
 ・上記の各数値はすべて標準の数値です。施工方法、施工条件により、各々多少の幅を生じることがあります。

### 劣化溶融亜鉛めっき・電気亜鉛めっき仕様

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	シンナー希釈 (%)	塗装方法	
下地調整	素地の油や汚れ、付着物をシンナーなどで完全に除去する。発生した白さびは、サンドペーパーやマジックロンなどで完全に除去する。						
下塗り	1液ハイボンファインデクロ	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内	塗料用 シンナーA	5~10 はけ ウールローラー	
ウレタン 仕上げの場合	上塗り①	1液ファインウレタンU100	0.12~0.16	3時間以上	塗料用 シンナーA	3~8	はけ ウールローラー
	上塗り②	1液ファインウレタンU100				8~13	
シリコン 仕上げの場合	上塗り①	1液ファインシリコンセラUV	0.12~0.16	3時間以上	塗料用 シンナーA	3~8	はけ ウールローラー
	上塗り②	1液ファインシリコンセラUV				8~13	

・さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り(1液ハイボンファインデクロ)で部分補修塗りをしてから全面下塗り塗装してください。  
 ・上記の各数値はすべて標準の数値です。施工方法、施工条件により、各々多少の幅を生じることがあります。

### ステンレス・アルミニウム仕様

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	シンナー希釈 (%)	塗装方法	
下地調整	溶剤拭きにより脱脂後、ペーパー掛けにより表面を粗し、再度溶剤拭きなどで清浄な面とする。						
下塗り	1液ハイボンファインデクロ	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内	塗料用 シンナーA	5~10 はけ ウールローラー	
ウレタン 仕上げの場合	上塗り①	1液ファインウレタンU100	0.12~0.16	3時間以上	塗料用 シンナーA	3~8	はけ ウールローラー
	上塗り②	1液ファインウレタンU100				8~13	
シリコン 仕上げの場合	上塗り①	1液ファインシリコンセラUV	0.12~0.16	3時間以上	塗料用 シンナーA	3~8	はけ ウールローラー
	上塗り②	1液ファインシリコンセラUV				8~13	

・さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り(1液ハイボンファインデクロ)で部分補修塗りをしてから全面下塗り塗装してください。  
 ・上記の各数値はすべて標準の数値です。施工方法、施工条件により、各々多少の幅を生じることがあります。

### 鋼板屋根、トタン屋根塗り替え

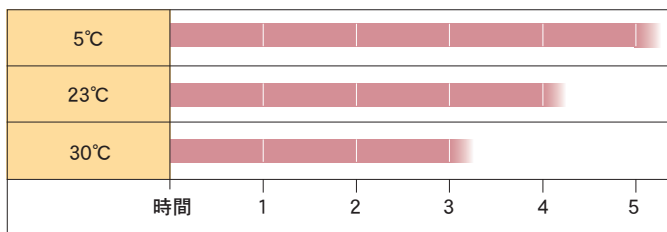
塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	シンナー希釈 (%)	塗装方法	
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜、さび、付着物などの周辺をワイヤーブラシ、ケレン棒などで除去する。溶接部のさびは、電動工具で除去する。油脂分、水分は溶剤ふきを行い清浄な面とする。						
下塗り	1液ハイボンファインデクロ	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内	塗料用 シンナーA	5~10 はけ ウールローラー	
シリコン 仕上げの場合	上塗り①	シリコンルーフⅡ	0.12~0.14*	2時間以上	塗料用 シンナーA	5~15*	はけ・ウールローラー エアレススプレー
	上塗り②	シリコンルーフⅡ				1	

・さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り(1液ハイボンファインデクロ)で部分補修塗りをしてから全面下塗り塗装してください。  
 ・上記の各数値はすべて標準の数値です。施工方法、施工条件により、各々多少の幅を生じることがあります。  
 \*シルバー色の使用量は0.07~0.10(Kg/m<sup>2</sup>/回)、シルバー色の希釈率は0~10%(シリコンルーフⅡ)となります。

## 荷姿

色	容量
黒さび色、赤さび色、グレー、 クリーム、ホワイト(白さび色)	16kg 4kg

## 乾燥時間



※乾燥時間は標準の数値です。施工方法・施工条件により、多少の幅を生じることがあります。特に施工時の気温が低い場合には、影響を受けやすくなりますので、注意してください。

## 表示

危険物区分：第4類第2石油類(非水溶性)	有害物表示：キシレン
危険物等級：Ⅲ(火気厳禁)	エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル
有機溶剤区分：第2種等	イソブチルアルコール
	エチルベンゼン

### 注意事項(詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

- 使用前に十分にかくはんしてください。
- 塗装時ならびに塗料の取り扱い時は、十分に換気を行い火気厳禁にしてください。
- 塗装場所の気温が5°C以下、湿度85%以上の場合は塗装を避けてください。
- 降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 施工時は、飛散防止のため養生を行ってください。
- ごみ・ほこり・砂・油・樹液などは、塗装前に水洗い、溶剤拭きなどで十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。
- さびは、ワイヤブラシ・サンドペーパーなどで急に除去してください。はく離個所があれば、その周辺を含めて除去し、膨れ・割れの発生にも注意し、十分なケレンを行ってください。
- 沈澱していることがありますので、よくかくはんしてお使いください。また、薄めすぎは、隠れい力不足、仕上がり不良などが起こりますので避けてください。
- 十分な塗膜性能を確保するため、所定の使用量を塗装してください。
- 塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。硬化が不十分な場合は、塗料用シンナーで再溶解する場合があります。
- シーリング材への塗装は、シーリング材の種類によっては、割れたり、汚れたりする場合がありますので、基本的に避けてください。やむを得ず塗装する場合は、汚れ防止にニップブリードオフプライマーを使用してください。
- 上塗りに強溶剤系塗料を使用しないでください。
- 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 使用後は密栓してから冷暗所で保管してください。

- はけなどの塗装機具の洗いは、ラッカーシンナーを使用してください。
- 1液ハイボンファインデクロの色相の違いの塗り重ねは、避けてください。やむなく色相の違いの塗り重ねをする際は、1回目クリーム、2回目ホワイトを塗り重ねてください。1回目赤さび色、黒さび色、2回目クリーム、ホワイト、グレーの組み合わせでは絶対に塗り重ねないでください。1回目の色がブリードすることがあります。
- 上塗り塗装時、はけ・ローラーなどを同一面に何度も塗りしごくと、1液ハイボンファインデクロが再溶解し、ブリードすることがありますので、注意してください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビ珪鋼板、塩ビラミネート、プラスチックなどへの塗装はお避けください。
- 内部塗り替えにおいて、旧塗膜がOP、FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は塗膜はく離の可能性があります。
- 塗り重ね日数がオーバーした場合、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで面粗してから塗り重ねてください。
- 希釈直後、かくはんして少し重い(希釈が足りない)と感じる程度が適量です。
- 希釈時、シンナーをいれるとシンナーが浮いた状態になりますが、これは特殊樹脂によるものであり、問題ありませんのでそのままかくはんしてください。
- 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

### 安全衛生上の注意事項 1液ハイボンファインデクロ ホワイト(白さび色)

### 横倒禁止

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を手入してください。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。— 禁煙です。
- 容器を密封しておいてください。
- 容器を接地/アースをとってください。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
- 火花を発生させない工具を使用してください。
- 静電気放電に対する予防措置を講じてください。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。
- 取扱後は、手洗いおよびうがいを行ってください。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
- 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。
- 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けてください。
- 緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。
- 口をすすいでください。
- 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
- 漏出物を回収してください。
- 皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。皮膚を流水シャワーで洗ってください。
- 吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用

- していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けてください。
- 皮膚刺激を生じた場合：医師の診断/手当を受けてください。
- 眼の刺激が続く場合は：医師の診断/手当を受けてください。
- 汚染された衣類を脱いで、再使用する場合には洗濯してください。
- 火災の場合：消火に適切な手段を使用してください。
- 施設にて保管してください。
- 換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。
- 直射日光や水濡れは厳禁です。
- 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50°C以上(スプレー缶の場合は40°C以上)の温度にばく露しないでください。
- 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げる時には、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
- 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。  
 詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。  
 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

### 危険



### 危険有害性情報

引火性液体および蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/吸入すると有害/遺伝性疾患のおそれ/発がんのおそれ/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/臓器の障害(単回暴露)/長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害/水生生物に毒性/長期的影響によって水生生物に毒性

## 日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

●このカタログは再生紙を使用しています。

- 本カタログの内容については、予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2017 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.

■詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物 検索

<http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html>

カタログNo.

NP-T091

MX170212T  
2017年2月現在